

Part VI Survey forms and notification formats

数字記入例

0123456789

人口動態調査出生票 1

統計法に基づく
基幹統計調査
政府統計

(和暦)

年 月 日

市区町村受付

(和暦)

年 月 日

保健所受付

支所 保健所

事件簿番号

市区町村符号及び保健所符号

照会

:

(1)子の氏名 父母との続柄 男 女	氏名	日本 外国		1 嫡出子 2 嫡出でない子	(2) 1 男 2 女	和暦	年 月 日	1 午前 2 午後	時
(3)生まれたところ	(4)子の住所	日本 外国		指定都市の町、字、丁目、番地、番号、アパート・マンション、様方					
		市区町村符号 保健所符号							
(5)父母の氏名 生年月日	父	母	(6)父母の国籍		父	母	1 病院 2 診療所 3 助産所 4 自宅 5 その他		
(7)同居を始めたとき	和暦 年 月 日	和暦 年 月 日	(9)子が生まれたとき 子の世帯の主な仕事		父	母	施設の種類		
(11)体重及び身長	和暦 年 月 日	和暦 年 月 日	(12)単胎・多胎の別		(10)子が生まれたところ		施設の名称		
(13)妊娠週数	満 週 日	事件簿番号		備考					
(14)この母の出産した子の数	出生子 人 胎	出生票第 号		欄					
(15)出生に立ち会った者	1 医師 2 助産師 3 その他	死産票第 号		確認 号					

(13)妊娠週数	満 週 日	事件簿番号		備考					
(14)この母の出産した子の数	出生子 人 胎	出生票第 号		欄					
(15)出生に立ち会った者	1 医師 2 助産師 3 その他	死産票第 号		確認 号					

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。

この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

人口動態調査死亡票 2

(和暦) 年 月 日 市区町村受付

統計法に基づく
基幹統計調査

[illegible]

事件簿番号

(和暦) 年 月 日 保健所受付

照会

(1) 氏 名		(3) 生 年 月 日										(4) 死 亡 し た と き									
		和暦 年 月 日 1午前2午後 時 分										和暦 年 月 日 1午前2午後 時 分									
(2) 男 女 別		1男 2女		(6) 死 亡 し た 人 の 住 所		日 本 外 国 不 詳		都 道 府 県		市 , 郡 , 特 別 区		町 , 村 , 指 定 都 市 の 区 又 は 総 合 区									
(5) 死 亡 し た と き		1日本 2日本外		1届市区町 2届市区町以外 3出 3出 4出 4出		市区町村符号		保健所符号		指定都市の町, 字, 丁目, 番地, 番号, アパート・マンション, 様方											
(7) 死 亡 し た 人 の 国 籍		1日本 2韓国 3中国 4フィリピン 5タイ 6米国 7英国 8フランス 9ベルギー 10その他 11不詳		(8)(9) 死 亡 し た 人 の 夫 また は 妻		1いる 2いない (未婚 死別 離別) 3不詳															
(10) 死 亡 し た と き の 世 帯 の 主 な 仕 事		1農家 2自営 3勤 4勤 5その他 6無職		(11) 死 亡 し た と き の 職 業 ・ 産 業		1病院 2診療所 3介護施設 4助産所 5業 6自宅 7その他		施設 の 名 称													
原 死 因 符 号			外 因 の 状 況 符 号			発 生 し た と ころ 符 号			傷 害 発 生 し た と ころ 符 号			母 側 符 号				
(14) 死 亡 の 原 因		(ア) 直 接 死 因		(イ) (ア) の 原 因		(ウ) (イ) の 原 因		(エ) (ウ) の 原 因		発 病 (発 症) 又 は 受 傷 か ら 死 亡 ま で の 期 間											
(15) 死 因 の 種 類		1病死・自然死 2交通 3転倒 4溺水 5火災 6窒息 7中毒 8その他 9自殺 10他殺 11不詳 12不詳		(17) 生 後 1 年 未 満 で 病 死 し た 場 合 の 追 加 事 項		出 生 時 体 重		単 胎 ・ 多 胎 の 別		妊 娠 週 数											
(16) 外 因 死 の 追 加 事 項		(和暦) 年 月 日 1午前 2午後 時 分		手術年月日 (和暦) 年 月 日		解剖 (和暦) 年 月 日		1無 2有		1無 2有		1無 2有		1無 2有		1無 2有		1無 2有			
(19) 施設 の 所 在 地 又 は 医 師 の 住 所 及 び 氏 名		住所		丁 目		番 地 番 号		確 認		備 考											

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。

この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

数字記入例

0123456789

人口動態調査死産票 3

(和暦) 年 月 日 市区町村受付

統計法に基づく
基幹統計調査



(和暦) 年 月 日 保健所受付

照会

☐ ☐ ☐

市区町村符号及び保健所符号

事件簿番号

(1) 父母の国籍	父	1日本 2韓国 3中国 4フィリピン 5タイ 6米国 7英国 8ブラジル 9ペルー 10その他 11不詳	(2) 父母の氏名及び年齢	父	母
	母	1日本 2韓国 3中国 4フィリピン 5タイ 6米国 7英国 8ブラジル 9ペルー 10その他 11不詳		満 歳	満 歳

(3) 死産児の男女別及び嫡出子か否かの別	1男 2女 3不詳	1嫡出子 2嫡出でない子	(4) 死産があったとき	和暦 年 月 日 1午前 2午後 時
-----------------------	-----------	--------------	--------------	--------------------

(5) 死産があったときの母の住所	日本 外国 不詳	都道府県	市、郡、特別区	町、村、指定都市の区又は総合区
1 届市区町村と同一	2 届市区町村以外	3 不詳	4 不詳	
市区町村符号 保健所符号				
指定都市の町、字、丁目、番地、番号、アパート・マンション、様方				

(6) 死産があったときの世帯の主な仕事	1農林 2自営 3勤労 4勤労 5その他 6無職	(7) 死産があったときの父の職業	父 母	(8) この母の出産した子の数	出生子 妊娠満22週以後の死産児 妊娠満21週以前の死産児
----------------------	--------------------------	-------------------	-----	-----------------	-------------------------------

(9) 妊娠週数	満 週 日	(10) 死産児の体重及び身長	g 不詳 cm 不詳	(11) 胎児死亡の時期 (妊娠満22週以後の自然死産)	1分娩前 2分娩中 3不詳
----------	-------	-----------------	------------	------------------------------	---------------

(12) 死産があったところの種別	1病院 2診療所 3助産所 4自宅 5その他	(13) 単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)	3不詳	(14) 死産の自然人工別	1自然 2法による人工死産 3法によらない人工死産 4不明
-------------------	------------------------	--------------	-----------------	-----	---------------	-------------------------------

(15) 自然死産の原因若しくは理由又は人工死産の理由	胎児の側		母の側	
	(ア) 直又は接は原因理由			
	(イ) (ア)の原因			
	(ウ) (イ)の原因			
	(エ) (ウ)の原因			
II	I ば欄に記した傷病名等			

母体保護法による場合	1母体側の疾患 2その他	疾患名又は理由
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
母体保護法によらない場合	1母体側の疾患 2その他	疾患名又は理由
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

(16) 胎児手術の有無	1無 2有	部位及び主要所見	(17) 死胎解剖の有無	1無 2有	主要所見	(18) 死産に立ち会った者	1医師 2助産師 3その他
--------------	-------	----------	--------------	-------	------	----------------	---------------

双子以上の場合は他の子の事件簿番号	出生票第 号	死産票第 号	確認 欄	備考
-------------------	--------	--------	------	----

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

数字記入例

0123456789

人口動態調査婚姻票

4

統計法に基づく
基幹統計調査
政府統計

市区町村符号及び保健所符号		支所 保健所		事件簿番号	
市区町村符号		保健所符号		事件簿番号	
(和暦) 年 月 日		(和暦) 年 月 日		(和暦) 年 月 日	
市区町村受付		市区町村受付		保健所受付	

市区町村 受付 月	夫 (1) 氏名及び 生 年 月	妻 和暦 年 月	和暦 年 月
--------------	------------------------	-------------	--------

(2) 夫の住所	日本 外国	都道府県	市、郡、特別区	町、村、指定都市の区又は協合区(指定都市の町、字、丁目以下は記入しないでください)
----------	-------	------	---------	---

(3) 国籍	夫	日本 韓国 中国 フリビジ タイ 米国 英国 フラジル その他	不詳	(4) 婚姻後の夫婦の氏	夫の氏 妻の氏	(5) 同居を始めたとき	和暦 年 月
	妻	日本 韓国 中国 フリビジ タイ 米国 英国 フラジル その他	不詳				和暦 年 月

(6) 初婚・再婚の別	夫	初婚 再婚 死別 離別	妻	初婚 再婚 死別 離別	和暦 年 月
-------------	---	-------------	---	-------------	--------

(7) 同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯の主な仕事	夫	1 農家 2 自営 3 勤I 4 勤II 5 その他 6 無職	妻	1 農家 2 自営 3 勤I 4 勤II 5 その他 6 無職	(8) 同居を始める前の夫妻の職業	夫 妻
-----------------------------	---	---------------------------------	---	---------------------------------	-------------------	-----

確認	備考欄
----	-----

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

数字記入例

0123456789

人口動態調査離婚票

5

統計法に基づく
基幹統計調査

政府統計

照会

(和暦) 年 月 日 市区町村受付
(和暦) 年 月 日 保健所受付

事件簿番号

市区町村符号及び保健所符号

市区町村 受 付 月 年 月 日 夫 氏名及び 生 年 月 妻 和 暦 年 月 日 妻 和 暦 年 月 日

(2) 国 籍 夫 妻 1日本 2韓国 3中国 4マリアン 5タイ 6米 7英国 8フィリ 9ペルー 10その他 11不詳 離婚の種別 協議 調停 審判 和解 離婚 判決 未成年の子の数 同居の期間 同居を始めたとき 和暦 別居したとき 和暦

(8) 別居する前の住所 日本 外国 都道府県 市区町村 特別区 町 村 指定都市の区又は総合区(指定都市の町、字、丁目以下は記入しないでください)

(9) 別居する前の世帯の主な仕事 1農家 2自営 3勤 4勤 5その他 6無職 別居する前の夫 妻 夫 妻

確認 備考 欄

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

死亡

令和 年 月 日 届出

受理	令和	年	月	日	発送	令和	年	月	日	知 通	
第	号										
送付	令和	年	月	日	長印						
第	号										
書類調査	戸籍記載	記録調査	調査票	附	票	源	住民票				

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
死亡したことを知った日からからぞえて7日以内に
出してください。
死亡者の本籍地でない役
場に出すときは、2通出
当と認めたときは、1通
で足りることもありま
す。）。2通の場合でも、
死亡診断書は、原本1通
と写し1通でさしつかえ
ありません。

▶「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

▶内縁のものはふくまれ
ません。

□には、あてはまるものに□のようしるしをつけてください。

▶ 死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法）に基づく基幹統計調査（厚生労働省所管）が、登録等の推進に関する法律に基づく全国が登録（厚生労働省所管）にも用いられます。

[illegible]

死亡診斷書 (死体検案書)

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

[illegible]

記入の注意

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

「5 老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3
介護医療院・介護老人保健
施設」を選択した場合は、介護
施設の名称に続けて、介護
医療院、介護老人保健施設
の別をカッコ内に書いてく
ださい。

傷病名等は、日本語で書いてください。

I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満期何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満期何週の分娩中」と書いてください。産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満期何週産後満期何日」と書いてください。

・I欄及びII欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもガッツコを付して書いてください。

「2 交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。

「5 煙、火災及び火燭による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含められます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

たさい。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により確定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。

姻 匪

[illegible]

記入の注意

鉛筆や消えやすいペンキで書かないでください。
この届書は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日も届けることができます。
目でも届けることができます。
夫になる人または妻になる人の本籍地に出すときは2通、そのほかのところに出すときは3通出してください（役場が相当と認めたときは、1通で足りることもあります）。
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

証 人		
署名 (※押印は任意)	印	印
生年月日	年 月 日	年 月 日
住所		
本籍	所在地 番 号	所在地 番 号

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

□には、あてはまるものに□のようしをつけてください。

外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。
内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。

